



全国支部長・役員研修会(2面)

大谷婦人会 すみれ

べっ し ぶ ちようかい か い さい ブロック別支部長会の開催

北陸南部	2019年12月 5日 (金沢別院)
西日本	2019年12月11日 (難波別院)
北陸北部	2019年12月12日 (能登教務所)
東日本	2020年 1月17日 (仙台教務所)
東海	2020年 2月 3日 (名古屋別院)

2019年12月5日、北陸南部地区を皮切りに、5ブロックあるブロック別支部長会の開催が始まりました。このブロック別支部長会は前回2017年度に開催をしており、この度もご多用にも関わらず多くの支部長様がお集まりいただき、今後の婦人会の活動の周知を図りました(通信発行時には東北、および東海ブロックが未開催です)

皆様方すでにご承知の通り、2023年度に宗祖親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年慶讃法要が厳修されます。婦人会ではこれまで2度にわたって慶讃事業企画検討会を開き、2021年から2023年までの3年間をお待ち受け事業として、全国大会を地方で開催する計画を12月9日に開催された委員協議会にて話し合いました。

2019年度の全国大会(2020年4月開催)は婦人会の創立130周年を迎える節目の年にあ

たる事も考え、しんらん交流館で開催。2021年は大阪で、そして未定となっていました2022年はIN北陸として金沢開催が確認されました。

このブロック別支部長会では、それらの事を受けて慶讃事業推進委員、そして地方開催に特化した実行委員(いずれも仮称)を推薦いただき、十分な意見交換や情報共有を行う事を目的とし、参加された支部長の皆様にはご協力を仰ぐとともに、この大きな行事に関わる婦人会の働きにご協力を呼びかけました。また、今年度のすみれ会の参加枠を増やしていることから、次世代を担う方々の重要性についても話し合い、貴重な意見交換の場となりました。ブロック内や支部、そして会員のつながりを大切に、今私たちに何ができるのかを再確認していく機会になったと感じております。

大谷婦人会委員長 月輪 満子





第72回東海・近畿地区聞法会 2019年8月27日～29日 開催

於：三重県鳥羽市「鳥羽グランドホテル」
講師：真城 義磨 師(四国教区東予組善照寺住職・真宗大谷学園専務理事)

東海・近畿地区聞法会の講師に真城義磨先生をお迎えし「六字のみ名をとえつつ」の講題にて法話を聴聞いたしました。
近頃の日常生活の変化をわかりやすく、また現代忘れかけている住居の事柄を3つ問われました。

1. 床間が忘れられている
2. いろいろ(部屋の中心にある火)がない
3. 仏間(本尊の前)がない

この1～3を証して聖空間という。『日本人の忘れもの』(中西進著)の一節(中西先生は令和を考案された方と云われています)

聖空間という言葉は、初めて耳にする言葉でしたが、確かに納得することばかりでした。お軸をかける床間がなく、家族が集まり、暖をとることもなく、仏間がなくしては、揃ってご本尊の前でお勤めの機会も作れず。この聖空間が時代と共に減り、自分の都合のいいように生きていくように思われます。いのちとは預かりものであり、存在そのものが無条件に尊いことである。「六字のみ名をとえつつ」というこの教えを次の世代、孫達にもつなげていく責任があると自分自身気づかされました。
8月という猛暑の中での聞法会であったせいか、出席者が昨年に比べ減少しているように思われました。身近なわかりやすい聞法の間をこれからも聞き続けていきたいものです。



全国支部長・役員研修会 秋季永代経法要 2019年9月17日～18日 開催

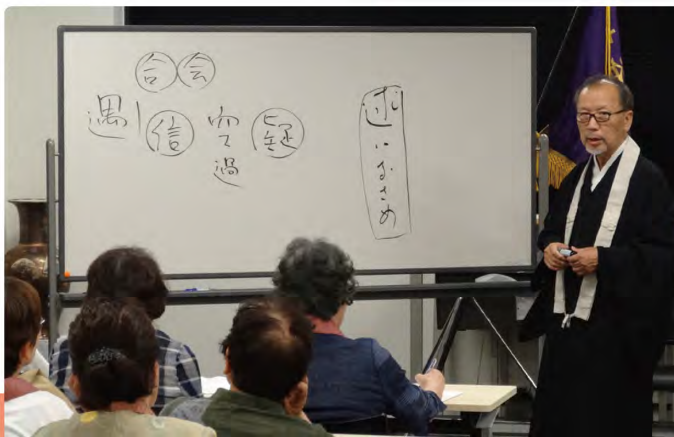
於：真宗本願寺(東本願寺)同朋会館・和敬堂
講師：三島 清圓 師(高山教区古城組西念寺住職・同朋会館教導)

2019年度全国支部長・役員研修会がリニューアルされた同朋会館及び和敬堂を会場として開催されました。初めて足を運ばれた支部長、役員の方もおられたかと思いますが、私が耳にした所では好評であったと感じました。またこの度の研修では2日間にわたり三島清圓先生に「往生の人生」の講題のもと「ネコの往生」等ユーモアを交えながらスライドを中心に解りやすく法話を頂戴し皆様興味深く聞き入っておられた事を目にいたしました。

2日目の研修は晨朝参拝引き続きの帰敬式で8名の皆様がお受けになりました。次に御影堂広縁の清掃奉仕を全員で行い初めて経験された方も多かったと思いますが、皆様和気あいあいと奉仕をさせていた

帰敬式受式の皆さま、おめでとう！

だきました。
また意見交換会では、すみれ会の参加者選定について頭を悩ましているとの意見、今年度の研修会は、仏法に親しみを感じ年を重ねている自分達には最高であった、との意見をいただき、大谷婦人会のサブテーマである「とどけようナンマンガブ」そのもので有意義な研修会であったと感じました。



2019年度委員協議会

全国の委員が一同に集い、今年度も委員協議会が開催され、当日は委員20名と監事2名が出席しました。

今委員協議会では「大谷婦人会における慶讃事業について」を主に話し合い、班別協議並びに全体協議で意見が交わされました。

「2020年度(2021年)の全国大会は大阪で開催する」
「慶讃事業の全体方針を協議し事業の推進を図るため、各ブロックから1名ずつ選出し、慶讃事業推進委員会を設置する」
「大阪大会に向けた実行委員会を設置する」等のことが決定されました。

また、未定となっていた2021年度(2022年)の開催場所を金沢とする方向性が確認され、「各地区で開催し、より婦人会の発展に繋がれたら良い」との声も聞かれました。



ご案内



『やさしい法話シリーズ』 No.21 新刊発行



譲 西賢 述 「園林のナビゲーション」
毎年ご好評をいただいております『やさしい法話シリーズ』を今年も発行いたしました。
今回は、2018年8月21日から2日間にわたって開催された、全国支部長・役員研修会の講師である譲 西賢 師(大垣教区慶圓寺住職・岐阜聖徳学園大学名誉教授)のご法話を掲載しております。
私たちは皆「当てにならない存在」そして「自分に生まれた意義と生きる喜びを願われている存在」そのことに気づかせてくださる様々な阿弥陀さまのはたらきについて、身近な視点からお話しされています。この機会にぜひご購入ください。
価格：1冊130円(税込・送料別)

月刊聞法誌『花すみれ』

大谷婦人会は1890(明治23)年に創立され、月刊『花すみれ』は1907(明治41)年、機関誌「婦徳」として発行以来、1951(昭和26)年に月刊聞法誌『花すみれ』として現在まで続いている歴史ある聞法誌です。
毎月私たちの生活の中における、親鸞聖人のお念仏の教えがわかりやすく書かれています。「読みやすい!」「ナンマンガブの教えが書かれている!」「隙間時間に読める!」「お寺の集まりに最適!」「バッグに入れやすい!」数々の皆様のお声をいただいております。ぜひご購入ください!



購読料(送料込) 年間2,400円
※年間購読に限り、30部以上まとめて1カ所へ送付する場合、一括払いに限り割引となります。

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地
口座番号 ゆうちょ銀行00950-5-233336
加入者名 真宗大谷派大谷婦人会

購読申し込み先

TEL.075-371-6181
FAX.075-371-6171

2019年度すみれ会

開催日 2020年3月11日(水) 10:00~15:00

会場 しんらん交流館「大谷ホール」他

講師 平原 晃宗師(京都教区正蓮寺住職・大谷中・高等学校宗教科講師)

講題 未定

対象 56名(各教区の委員選出数×2)

その他 ①参加者の往復旅費を大谷婦人会が負担いたします。
②当日は保育室を設置いたします。(利用者が有る場合のみ)

次世代を担う方々に仏法聴聞の大切さを伝え、共に一念仏申すことが出来る環境づくりとして、今年度も「すみれ会」を開催いたします。今年度は、対象人数を増加いたしますので、より多くのかたのご参加をお待ちいたしております。



2019年度全国大会 物故会員追弔法要・春季永代経法要

開催日 2020年4月16日(木)

会場 しんらん交流館「大谷ホール」

講師 木越 渉師(金沢教区光専寺住職)

講題 「尊者阿難座よりたち
一念仏伝播の瞬間」

冥加金 2,000円

懇親会場 からすま京都ホテル

懇親会費 1,000円

詳細は、各支部宛にお送りするご案内をご覧ください。



第73回北陸地区聞法会

〔前期〕

期 間 第1組 5月19日(火)~20日(水)

第2組 5月20日(水)~21日(木)

会場 ホテルこうしゅうえん(石川県 輪島市)

講師 渡邊 愛子師(『花こぶし—恵信尼消息をもとに—』作詞者)

講題 未定

〔後期〕

期 間 第3組 6月 9日(火)~10日(水)

第4組 6月10日(水)~11日(木)

会場 ゆのくに天祥(石川県 加賀市)

講師 渡邊 愛子師(『花こぶし—恵信尼消息をもとに—』作詞者)

講題 未定

詳細は、北陸地区各支部宛にお送りするご案内をご覧ください。



編集後記

(近藤編集長)

2020年、大谷婦人会の礎となった大谷婦人法話会創立より130年節目の年だ。

私たちは、ついつい今年は何周年、何年目と数えるのが好きだ。でも、数えてみてあらためて時の長さや数えきれないほどの人たちのおかげがあってここに私たちがいる、ということに気づかされる。一人の私はほんの小さな砂つぶでしかけれど、仏滅2500年余り、その仏法という大きな川の流れの中の一つとしてここにいます。一つ一つとて婦人会の仲間という。みんなと一緒にナンマンダブをとけられるようになればと思う。

私たちの宗旨

【宗旨】浄土真宗
【本尊】阿弥陀如来
【正依の経典】
仏説無量寿經(大經)
仏説觀無量壽經(觀經)
仏説阿彌陀經(小經)
【宗祖】親鸞聖人
【宗祖の著書】
願浄土真実教行証文類
(教行信証)
【宗派名】真宗大谷派
【本山】真宗本廟(東本願寺)
【所在地】
京都市下京区烏丸通七条
上る常葉町七五四番地